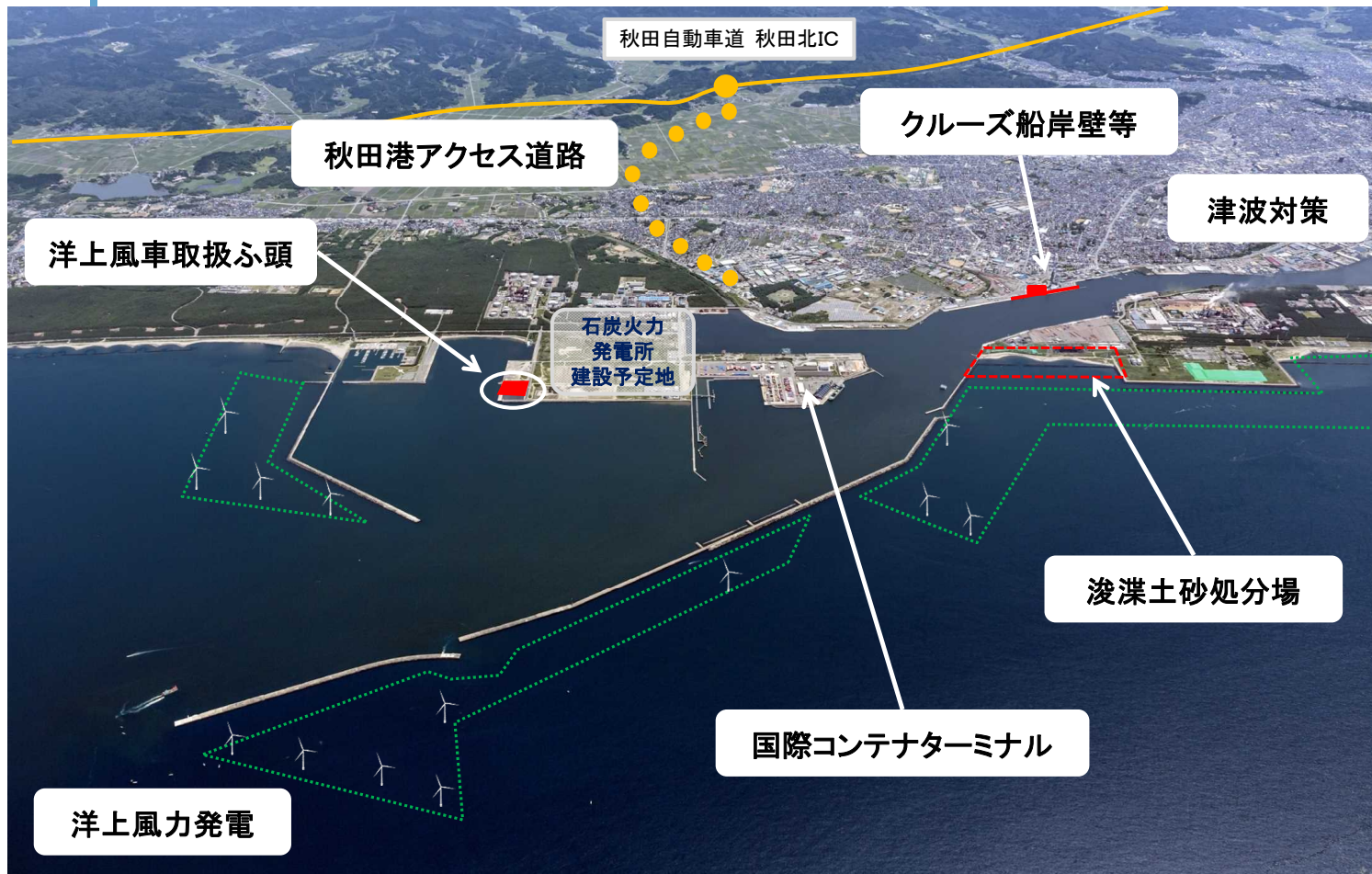


# 秋田港 環日本海交流や地域の拠点となる港湾の機能強化

令和元年9月26日  
秋田県建設部港湾空港課

## 秋田港の主な事業箇所

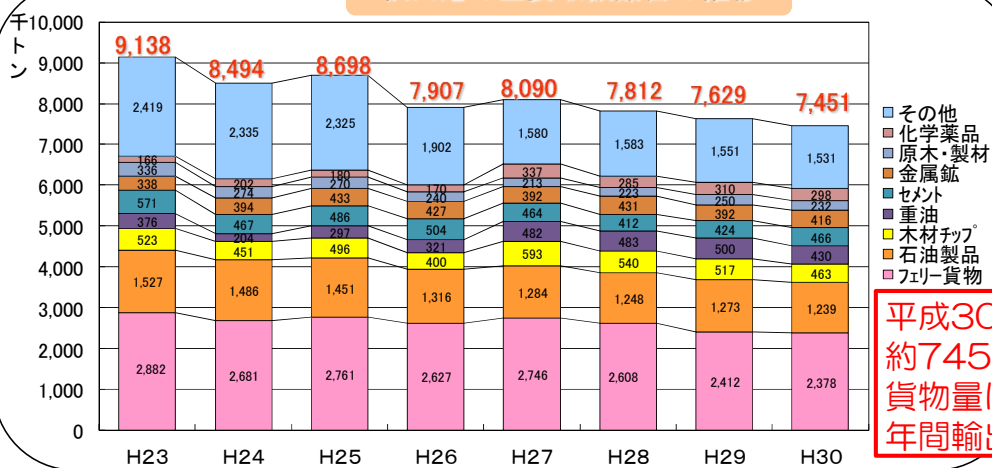




# 秋田港の利用状況(取扱貨物量)

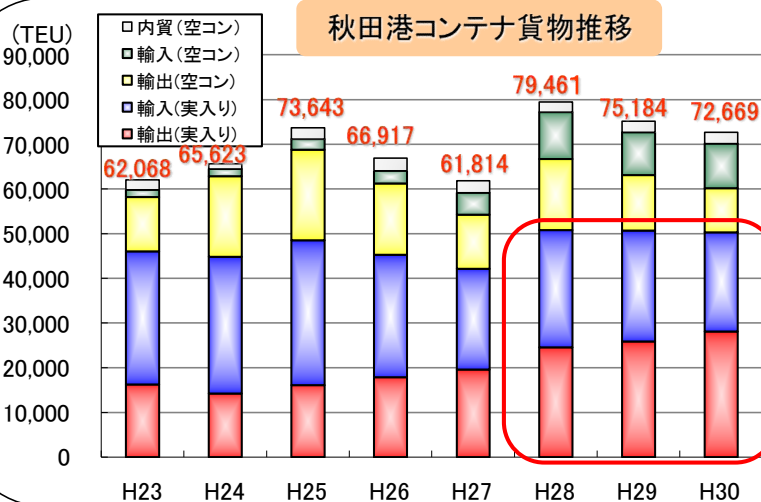


秋田港の主要取扱品目の推移



平成30年の取扱貨物量は約745万トン。貨物量は減少したものの、年間輸出額は過去最高。

秋田港コンテナ貨物推移

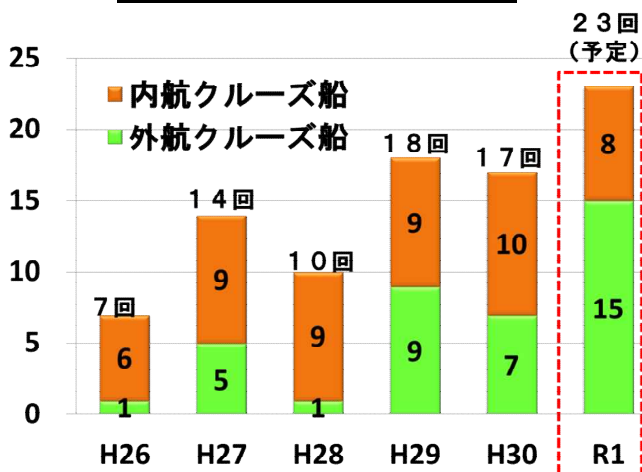


平成28年から3年連続で、5万TEU超(実入り)のコンテナ取扱量となっており、順調に推移。

# 秋田港の利用状況(クルーズ客船の寄港)



秋田港 クルーズ船寄港数



世界で最も有名な豪華客船「クイーン・エリザベス」が平成31年、令和2年、令和3年、3年連続で秋田港に寄港。



秋田港

平成31年4月22日(月)  
 令和2年4月23日(木)  
 令和2年5月8日(金)  
 令和2年9月30日(水)  
 令和3年4月29日(木)



4月22日 クイーン・エリザベス初寄港 歓迎セレモニー



# 秋田港港湾計画改訂(コンテナターミナルの機能拡充)



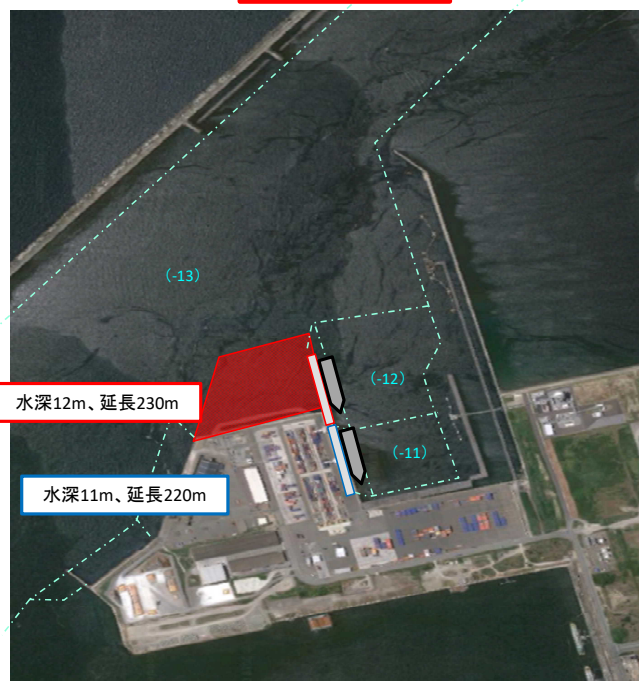
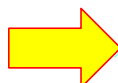
## H30年7月 港湾計画改訂

さらなる貨物量増加に対応して、港湾計画に沖側へのヤード拡張と、2船同時着岸に対応した岸壁延伸を位置づけ

目標年次(2030年代半ば)取扱貨物量12万TEU

既定計画

今回計画



4

# 秋田港港湾計画改訂(クルーズターミナルの形成)



## H30年7月 港湾計画改訂

本港地区におけるクルーズ船の寄港増加、バルク貨物の取扱需要やフェリーの大型化の動向に対応するため、クルーズ船用岸壁を含む埠頭再編を計画に位置付け。

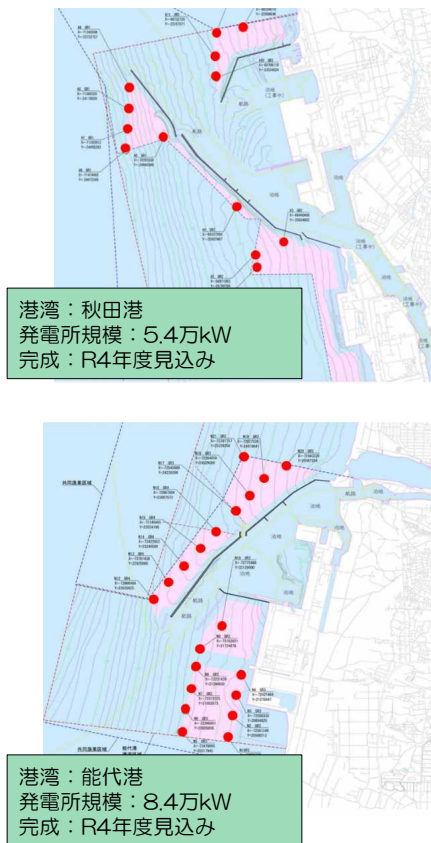
令和元年度:概略設計、測量、地質調査等



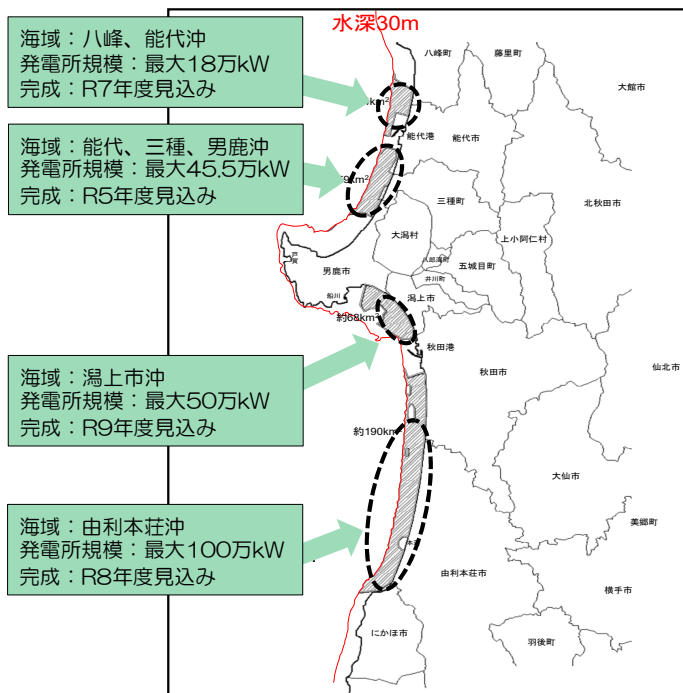
5



秋田港及び能代港において、民間事業者により港湾内洋上風力発電事業が計画されている。  
また、秋田県沖において、複数の洋上風力発電事業計画があり、洋上風力発電事業の有望区域として期待されている。



沖合洋上風力発電の候補海域  
(合計面積：約351km<sup>2</sup>)

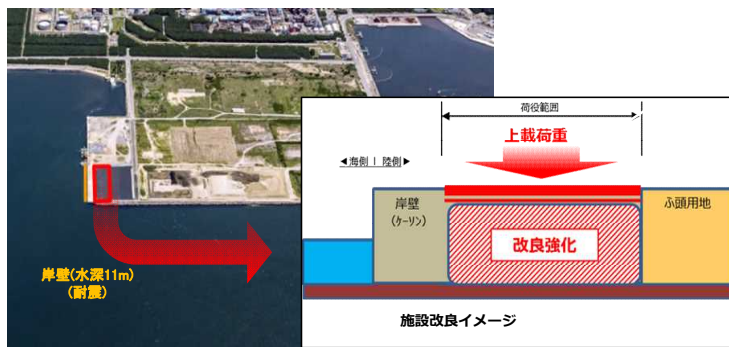


## 洋上風力発電の基地港としての整備

基地港となる港湾には、効率的な風車の組み立て・積み出しのために、高い地耐力を持った岸壁と広大なふ頭用地が必要。

### ○秋田港の整備

今年度、飯島地区において、国直轄事業により岸壁の改良に着手。



### ○能代港の整備

今年度、港湾計画を改訂予定。大森地区に、風車の利用環境を整備する予定。



